

第2次黒部市地域公共交通網形成計画（概要版）

1 計画策定の背景と目的（第1章）

本市では、平成27年3月の北陸新幹線開業への対応と市街地開発等の進捗を見据え、「黒部市地域公共交通網形成計画（平成27年4月策定、平成30年12月改定、以下「第1次計画」といいます。）」を策定し、路線バス・デマンドタクシーの整備・拡充を行い、市民の利便性向上に向けた取組を進めてきました。

公共交通利用者数の増加や公共交通空白地の解消については、一定の成果を得られましたが、現在のサービス水準の維持・拡充に向けては、さらなる利用促進やドライバーの確保、効率的な運行体系への見直しなどの官民協働による取組が求められています。

また、新たな拠点施設の整備や観光商品の造成の動きも活発化しており、これらに対応するアクセス環境の向上に向けた取組が求められています。

2 黒部市と市内地域公共交通の現状（第2章）

【黒部市の人口】

- ・今後、緩やかに減少傾向
（高齢化率も増加傾向）

【各公共交通機関の利用状況】

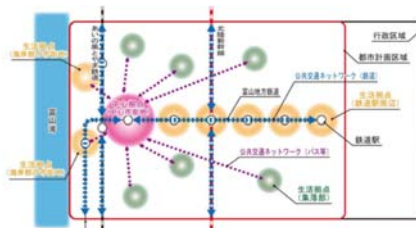
- ・概ね横ばいか微増傾向

【まちづくりの現状】

- ・立地適正化計画による都市機能の集約
- ・パッシブタウンやKタウンの整備等

【今後のまちづくりの動き】

- ・道の駅（仮称）くろべの完成
（令和3年度末）
- ・（仮称）くろべ市民交流センターの完成
（令和4年度末）
- ・黒部ルート的一般開放
（令和6年～）



3 アンケート調査結果（概要）（第3章）

3-1 市民アンケート調査（855名から回答）

- ・公共交通の必要性や維持について、肯定的な回答が多い。

3-2 黒部宇奈月温泉駅利用者アンケート調査（606名から回答）

- ・北陸新幹線に対し、概ね満足しているものの、他の交通機関の乗継における利便性の向上を求める声が多い。

3-3 路線バス利用者アンケート調査（74名から回答）

- ・運行ダイヤや運行情報及び鉄道との乗継で満足度の向上を求める声が多い。

4 地域公共交通網形成計画（第4章）

4-1 市内公共交通における課題整理

【第1次計画の目標達成状況】

- ・利用人数の増加及び公共交通空白地域の解消では、一定の成果が得られましたが、公共交通を利用する市民の割合や市内公共交通の満足度については、目標を達成することができませんでした。

【主な課題】

- ① 公共交通網の維持・さらなる利便性向上
- ② 新幹線効果の持続と新たなまちづくりへの対応
- ③ 将来的な公共交通網の持続に向けた対応
- ④ 公共交通のさらなる利用促進

⇒

- 鉄道を軸とした公共交通の維持と効率化
- 公共交通を身近に感じる機会づくりと利用する習慣づくり

4-2 計画期間と対象区域：令和2年度～6年度 黒部市全域

4-3 計画の基本方針

基本方針① 鉄道を軸とした公共交通網の維持

基本方針② 公共交通網を支える潜在的需要の開拓

基本方針③ 公共交通網の持続に向けた運行体系の確立

基本方針④ 新幹線効果の維持・向上

基本方針⑤ 利便性と魅力を高める公共交通環境の提供

基本方針⑥ 「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の推進

4-4 計画の目標

目標指標1 市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数

【現状値】 189,886人/年 (H30/10～R1/9) ⇒ 【目標値】 200,000人/年 (R5/10～R6/9)

目標指標2 市内鉄道の利用者数

【現状値】 3,471,161人/年 (H30/4～H31/3) ⇒ 【目標値】 3,674,000人/年 (R5/4～R6/3)

目標指標3 公共交通利用圏域内 町内会人口カバー率（交通空白地域の解消）

【現状値】 99.9% (H31/3) ⇒ 【目標値】 99.9% (R6/3)

目標指標4 1年に1回以上公共交通を利用する市民の割合

【現状値】 58.1% (R1 アンケート) ⇒ 【目標値】 80.0% (R6 アンケート)

目標指標5 市内公共交通への満足度

【現状値】 2.59 (R1 アンケート) ⇒ 【目標値】 3.50 (R6 アンケート)

4-5 実施事業

- ・6つの基本方針に基づく、13の基本施策を設定し、32事業（計画書参照）を実施します。

基本方針① 鉄道を軸とした公共交通網の維持

基本施策① 都市の骨格となる鉄道の持続的な運行

- ・事業1 北陸新幹線と市内交通機関との連携【新規事業】
- ・事業2 あいの風とやま鉄道と市内交通機関との連携【新規事業】
- ・事業3 富山地方鉄道本線と市内交通機関との連携【新規事業】

基本施策② 路線バスの持続的な運行

- ・事業4 新幹線市街地線の維持及び利便性向上
- ・事業5 新幹線生地線の維持及び利便性向上
- ・事業6 生地循環線の維持及び利便性向上
- ・事業7 石田三日市線の維持及び利便性向上
- ・事業8 池尻線の維持及び利便性向上
- ・事業9 南北循環線の維持及び利便性向上



基本施策③ コミュニティ交通の持続的な運行

- ・事業10 愛本コミュニティタクシーの維持及び利便性向上
- ・事業11 デマンドタクシーの維持及び利便性向上

基本施策④ 観光地を結ぶ交通網の維持

- ・事業12 アルペンライナー（宇奈月温泉立山室堂線）の維持及び利便性向上

基本方針② 公共交通網を支える潜在的需要の開拓

基本施策⑤ 公共交通の利用促進

- ・事業13 情報提供や利用促進に向けた取組の充実
- ・事業14 利用促進に向けた運賃設定と企画切符等の発行
- ・事業15 運転免許自主返納と連携した利用促進【新規事業】
- ・事業16 黒部宇奈月温泉駅駐車場の運用方法の検討【新規事業】



基本施策⑥ まちづくりと連動した交通環境の整備

- ・事業17 交流施設の整備に合わせたバス路線の見直し【新規事業】

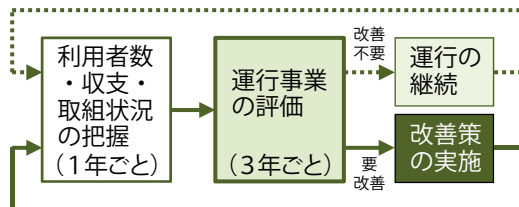


基本方針③ 公共交通網の持続に向けた運行体系の確立

基本施策⑦ 運行事業の効率化

- ・事業 18 バス路線等の定期的な見直しの検討【新規事業】
- ・事業 19 路線バスとスクールバス等との一体的な運行に向けた検討

○ 見直しフロー



○ 見直しに向けた考え方

- ・「(運賃収入－運行経費)÷利用者数」で算出される「一人あたりの収支」に着目
- ・「一人あたりの収支」が悪化しつつあるものは、改善に向けた検討を実施
- ・「一人あたりの収支」が比較的良いものについても、必要に応じ、さらなる運行の効率化や利用者数増に向けた検討を実施

基本施策⑧ 公共交通の担い手の確保

- ・事業 20 運転手確保の取組への支援【新規事業】
- ・事業 21 地域バス・タクシー導入可能性の検討【新規事業】

基本方針④ 新幹線効果の維持・向上

基本施策⑨ 新たな観光地へのアクセス環境の向上

- ・事業 22 黒部ルート一般開放に伴う既存公共交通の利用促進【新規事業】

基本方針⑤ 利便性と魅力を高める公共交通環境の提供

基本施策⑩ 公共交通利用環境の充実

- ・事業 23 バス待合環境の改善
- ・事業 24 無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備・運用
- ・事業 25 駅施設の修繕・改善とパーク＆ライド駐車場の整備
- ・事業 26 交通情報提供システムを利用した利便性の向上
- ・事業 27 車両及びバス停のデザイン化促進



基本施策⑪ 新たな技術の導入による利便性・魅力の向上

- ・事業 28 環境配慮型車両、バリアフリー車両や新システム等の導入可能性の検討

基本方針⑥ 「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の推進

基本施策⑫ コンパクトなまちづくりの推進

- ・事業 29 居住誘導区域への居住推進
- ・事業 30 都市機能集積の推進

基本施策⑬ 公共交通に関する調査・計画・評価検証

- ・事業 31 市民アンケート調査や新幹線の利用状況調査の実施
- ・事業 32 公共交通の評価、検証

4-6 事業の進捗管理

- ・P D C Aサイクルに基づき、1年ごとの評価・検証を行います。
- ・また、バス路線においては、概ね3年ごとに評価を行い、見直しが必要と考えられる場合は、協議会や地元関係者等と協議を行い、改善を図ることとします。